

## かわばたの風

思い新たに 管理者 太田 さとみ

この地で生活を始めて、5年目の春になりました。東日本大震災の避難場所としてこの地に事業所を求めましたが、今は次の目標を見据え、正念場の春を迎えています。重い障害を持った方達の終の棲家についてです。

私にとって5年という時間の流れは、障がい者の置かれている立場を知るためにも必要な時間でした。助けを求めている障がい者がたくさんいること。そのため、誰かが助けなくてはならないことを知りました。

そんな時間の中、常に黙って私の背中を押してくれている主人の存在は、私にとって勇氣と頑張りを与え続けてくれる、何物にも代えられない力強いものでした。

次は、私がこの力強い存在になりたい。助けを求めている障がい者のために、力を注ごうと思います。まだ微力ですが、もっと強い力に出来る頑張りとは力を持っていますつもりです。「愚鈍愚直」この言葉を実行できるように、強い思いと行動力を持ってこの地に来た時のように、もうひと頑張りを。今、始動の時を迎えます。



## 令和3年度上半期個別面談

3月から個別面談を行います。聞き取りした内容を元に、上半期の個別支援計画を作成、実施いたしますので、とても重要な面談となります。

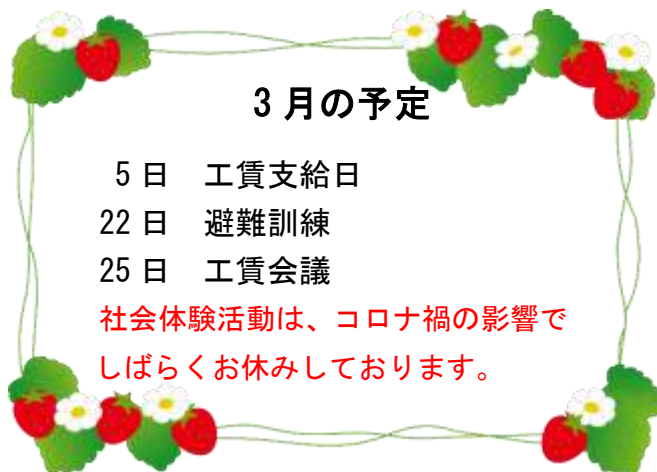
後日、作成した書類をお渡しいたしますので、ご確認をよろしくお願いいたします。

サービス管理責任者 加藤 安子

## 3月の予定

- 5日 工賃支給日
- 22日 避難訓練
- 25日 工賃会議

社会体験活動は、コロナ禍の影響でしばらくお休みしております。



## 「3年間を振り返って」

阿列布からKAKA's FACTORYに転勤してきて3年が過ぎようとしています。こちらに来てまず驚いたのは、時間の流れ方です。それまでは時間が早く経過するよう感じられ、ただひたすら目の前の仕事に取り組むことが多かったのですが、川端の時間の流れ方はとても穏やかに感じます。阿列布・静修苑とは違った問題やKAKA's FACTORYならではの支援もあり、頭の中は常にフル回転の状態ですが、私自身はとてもやりがいを感じています。いわきにいた時に比べると不便に感じることも少なからずありますが、それ以上に得られることがKAKA's FACTORYにはたくさんありました。そんな贅沢な環境の中で、これからも少しずつ自分自身を成長させていきたいです。

支援員 鈴木 朋美

例年より1日早い立春が過ぎ、暦の上では「春」です。いわきでは、このころから、花粉症で悩まされる人が多くなるようで、「今年の杉花粉の量は昨年のお2倍です」と、ニュースなどではよく耳にします。毎年その言葉を聞くということは、一体どのくらいの量が基準になるのだろうかと考え、心がざわざわします。▼息子も花粉症でいわきにいた時は、1日1箱のティッシュパーパーを使い切っていました。しかし、川端に住むようになり、それが一切無くなりました。本人はとても楽なようで、すっきりとした顔をしています。▼この時期、杉花粉の無いところにいるのは、心身共に楽だと感じる日々です。

風だよる



# ちゃかい お茶会



こんかい ちゃかい あんどちゃうしょく こな ふだん  
今回のお茶会 (& 昼食) は ≪粉ものパーティー!≫ 普段はなかなか  
食べられない、大好きな「粉もの」たくさんのメニューでした!



ないよう  
内容は、サーターアンダギー(初!)、  
この やき、 やさい  
お好み焼き、野菜スープ、  
フルーツヨーグルト でした(^)



## パルスオキシメーター (酸素飽和度測定器)

新型<sup>しんがた</sup>コロナウイルス感染<sup>かんせんたいさく</sup>対策として、パルスオキシメーターを  
取り<sup>と</sup>入<sup>い</sup>れました。これで、血<sup>けつ</sup>中の「酸素飽和度」という<sup>あたい</sup>値<sup>ち</sup>を  
調<sup>しら</sup>べます。バイタルチェックの時に<sup>とき</sup>使<sup>つか</sup>い、皆<sup>みな</sup>さんの健康<sup>けんこう</sup>管理<sup>かんり</sup>を  
さら<sup>きょうか</sup>に強化<sup>おこせ</sup>して行<sup>い</sup>っていきます。

